

# 総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。今定例会では、10人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。

★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

## 清風クラブ

### 共生社会のまちづくり

佐藤 貴子 議員

**問** パートナーシップ宣誓制度の認知度を高め、一人でも多くの市民が幸福を実感できる社会に変革していくことは、国や行政の責務だと考えるが見解を伺う。

**市民部長** 令和4年4月に開始した「平塚市パートナーシップ宣誓制度」は、セクシャルマイノリティや事実婚のカップルを対象としており、現在8組が利用している。さまざまな事情を抱えて生きづらさを感じている人達に寄り添い、自分らしく生きることができ社会的実現に向け、行政サービスの拡充や県内自治体の都市間連携を進めたいと考えている。

**問** LGBTQの市民の生の声を届けていく工夫も必要だと思が見解を伺う。

**市民部長** 申請に来た人の声を市のホームページにも掲載している。考え方がいろいろあり、今後、自身の体験を広く伝えたいとなれば検討し、広く知らしめる機会も考えていきたい。

### 犯罪被害者等支援条例の制定に向けて

佐藤 貴子 議員

**問** 条例施行までのスケジュールを伺う。

**市民部長** パブリックコメントの意見を取りまとめ、骨子案の修正を行い、条例案を策定する。警察や県弁護士会などの関係機関との協議を経て、令和6年度中の条例制定及び施行を予定している。

**問** 本市組織内での犯罪被害者などの心情に寄り添う人材の育成と、市民への啓発の取り組みを伺う。

**市民部長** 公益社団法人神奈川県被害者支援センターが主催する、犯罪被害者支援ボランティア養成講座を主幹部職員が受講予定である。市民への啓発は、ホームページやパネル展を通じて周知活動や講演会の開催を予定している。

**問** 不登校児童生徒への支援

平成28年12月に公布された教育機会確保法は、現場の教職員にどの程度浸透し、どのような研修をしているのか伺う。

**学校教育部長** 令和5年11月に、文部科学省から教育機会確保法の周知に関するパンフレットが教育委員会に届いた。各学校に送付し、法律の意義や基本的な考え方の理解増進を改めて図るよう依頼した。また5年度は、教育相談コーディネーターの担当者会の中で情報提供を行った。浸透状況の調査は行っていないが、学習機会の確保が重要だという認識は学校に伝わっていると考えている。

## 第2期平塚市スポーツ推進計画について

黒部 栄三 議員

**問** 平成26年に、誰もが生涯にわたりスポーツを楽しむ、いきいきとした生活を送れるよう、「スポーツを楽しみ、健康で長寿のまちひらつか」を目指す姿とする「平塚市スポーツ推進計画」を策定した。ここで第2期の推進計画(素案)が策定されたが、ライフステージに応じたスポーツ活動をどのようにPRし、推進していくのか伺う。

**社会教育部長** あらゆる世代や、障がいのある人も気軽に参加できるように、ひらつかスポーツナビなどで周知し、ニュースポーツやパラスポーツなどのイベントや大会を開催していく。

**問** 総合型地域スポーツクラブは、地域の主体的、自主的な活動だけに頼り、人や物を投入しないままでは育たない。スポーツクラブが軌道に乗れば、教員の働き方改革や負担軽減につながるため、目標を立てて推進すべきだと考えるが見解を伺う。

**社会教育部長** 現在活動している港スポーツクラブの活動を紹介し、創設に関する相談に応じていきたいと考えている。財政的な支援では、県の広域スポーツセンタークラブアドバイザー事業や日本スポーツ振興センターによる創設支援事業など、さまざまな支援を周知していきたい。

**問** 強い選手を育てるには優れた指導者と、支援・育成する体制を整えることが重要である。オリンピック選手を育成するシステムを作ることに、見解を伺う。

**市長** トップアスリートを育て、子ども達がそれを目指すことで元気なまちになる。トップレベルの試合を見る機会を多く持つことは重要である。小学生は無料でプロスポーツを観戦できるドリムパスポートがあり、令和6年度からはサッカーに限り中学生を対象に新規事業を開始する予定である。指導者育成支援は、本市の恵まれたスポーツ環境を生かし、トップアスリートを育てる体制作りをしつかりと進めていきたい。

**そのほかの質問** 平塚競輪中期経営計画(案)実効性のある災害協定 はたちのつどいの日程 ホームページを見やすく

### 「ずっと選ばれるまち」に。



須藤 量久 議員

### モーショントイプロモーションの推進

**問** 総務省が発表した令和5年の住民基本台帳人口移動報告で本市は2499人増で全国10位、東京23区と政令指定都市を除いた自治体で全国2位となった。改めて、シテイプロモーションの果たした役割と効果についての見解を伺う。

**市長室長** 平成27年度から行ってきた駅やショッピングセンターなどの動画放映や電車内での窓上広告、ご当地ナンバプレートやご当地婚姻届の作成などの取り組みは、9年連続の人

口の社会増や、さまざまな住み良さランキングで上位に入るなどの一助になっていると考えている。

**問** 人口の社会増が継続中の今こそ、さらに平塚の魅力発信を大胆に進めるべきだと考える。郷土愛の醸成による他者推奨へとつながる取り組み、来街促進や定住促進へとつながる取り組み、認知度向上へとつながる取り組みなど、市民や事業者をさらに巻き込み、力を合わせて、この明るい流れを未来へつなげる取り組みを、6年度の取り組みを伺う。

## 声や点字の議会だより

議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」や点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。



問い合わせ 議会局 ☎21-8791

### 過去に発行した議会だより

市議会ホームページでは、これまで発行したひらつか議会だよりをご覧いただけます。



## 清風クラブ 所属議員



坂間 正昭 議長



数田 俊樹 議員



野崎 審也 議員



片倉 章博 議員

### 会議録は5月中旬に公開

3月定例会の会議録は5月中旬に公開します。市議会ホームページなどでご覧になれます。